

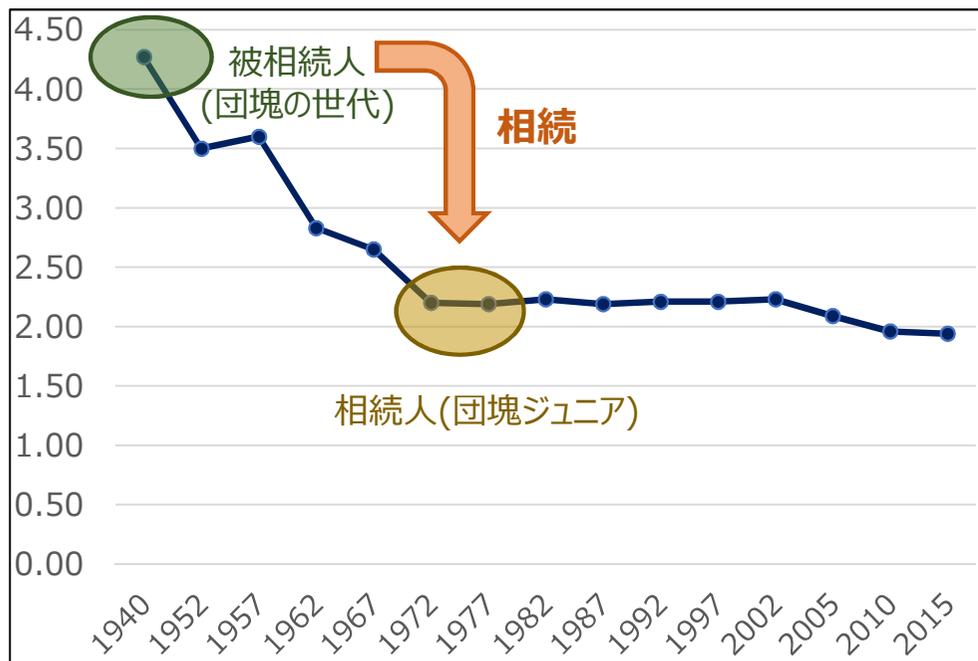
2019年3月26日
記者会見
生駒市役所

「ふるさとレガシーギフト」のご説明資料

遺贈寄附推進機構 株式会社
代表取締役 齋藤 弘道

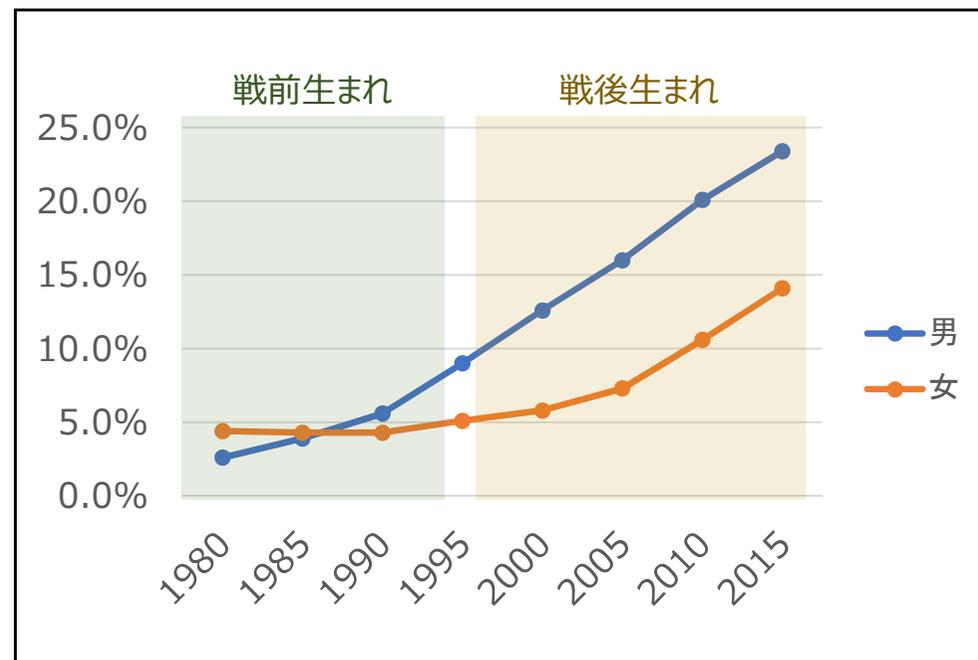
社会的背景

◆夫婦の完結出生児数(結婚期間15~19年)



(出典:国立社会保障・人口問題研究所)

◆生涯未婚率(50歳時の未婚率)



(出典:国立社会保障・人口問題研究所)

夫婦一組あたりの子どもの数が半分に。
被相続人1人あたりの相続人数が減少。

1995年に50歳の方は2020年に75歳。
配偶者や子がない被相続人が増加。

相続財産が「拡散」から「収束」へ

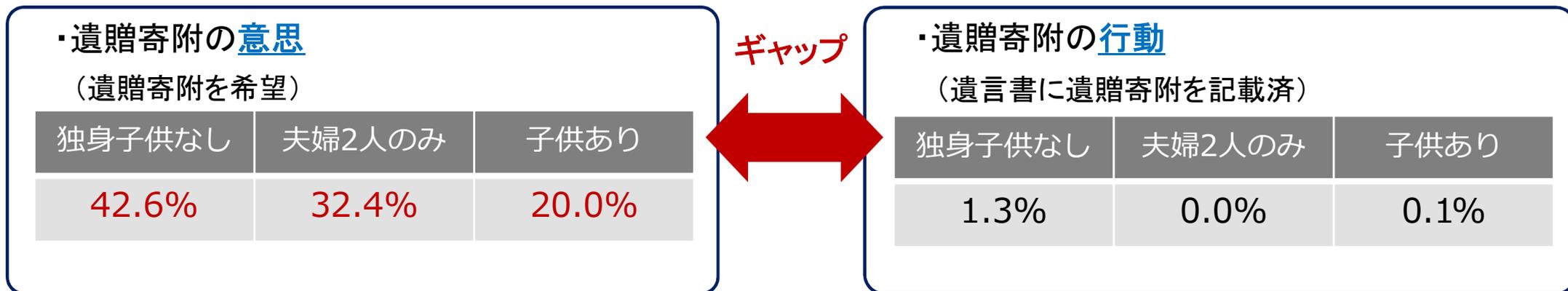
受け取り手のいない相続財産の増加

相続や資産承継に対する意識の変化

遺贈寄附への意識の高まり

遺贈寄附の現状

●遺贈に関する意識調査（日本財団2017年3月調査）



遺贈寄附の意向は特に子供のいない高齢者に多い

遺贈寄附を実行する人は極めて少ない

●遺贈寄附の現状（2016年）

※認定NPO法人シーズが国税庁に開示請求

	相続税申告全体(国税庁発表)	うち遺贈寄附を申告(※)	割合
件数	105,880件	572件	0.54%
金額	14兆7813億円	1,127億円	0.76%

心の中で遺贈寄附を望んでいても、実際に行動する人は少ない。

ギャップの要因

遺言のハードル

遺言は手間がかかる
財産の洗い出しも大変
公正証書は費用が必要

寄附先の信頼性

寄附する予定の団体が消滅したら
お金はどうなる？

生前に寄附する不安

いま多額の寄附は無理
将来の生活もある

遺留分対応への不安

自分の遺産で相続人がもめるのは嫌だ

遺言代用信託で手軽で確実に遺志を残すことができます。
手数料も無料です。

自治体へ寄附を行うことで、その使い道が信頼できます。

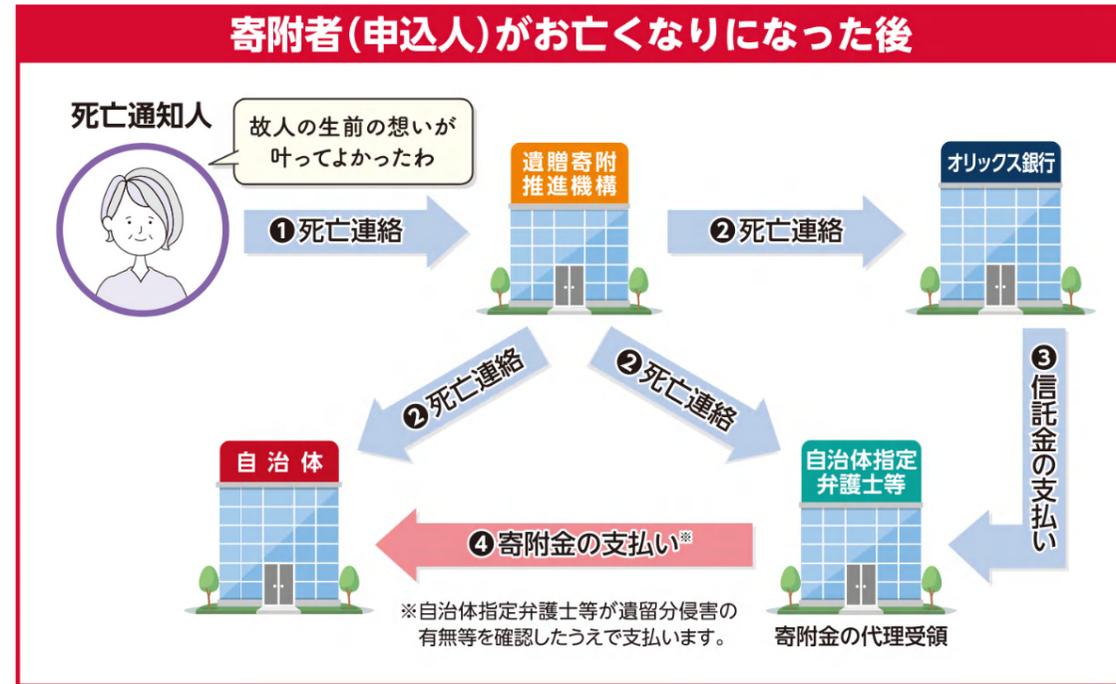
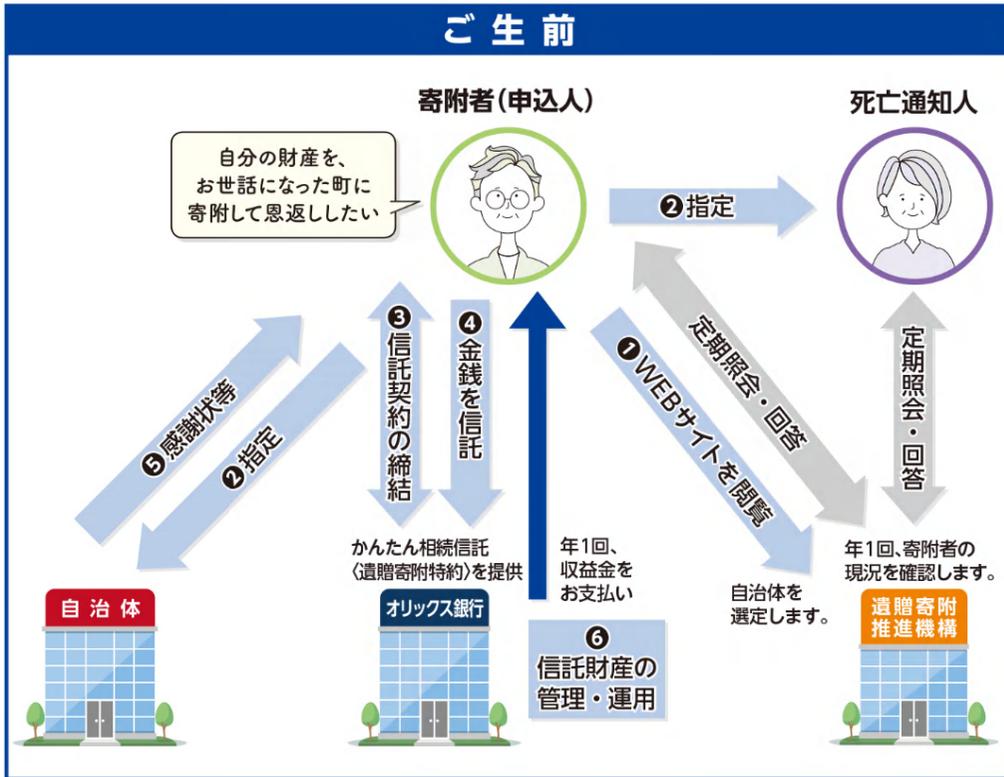
緊急に資金が必要な場合は信託を中途解約できます。

相続人からの遺留分減殺請求には弁護士が対応します。

遺言代用信託を利用した自治体への遺贈寄附
「ふるさとレガシーギフト」

「ふるさとレガシーギフト」でギャップを埋めて、「思い」を叶える。

「ふるさとレガシーギフト」の仕組み



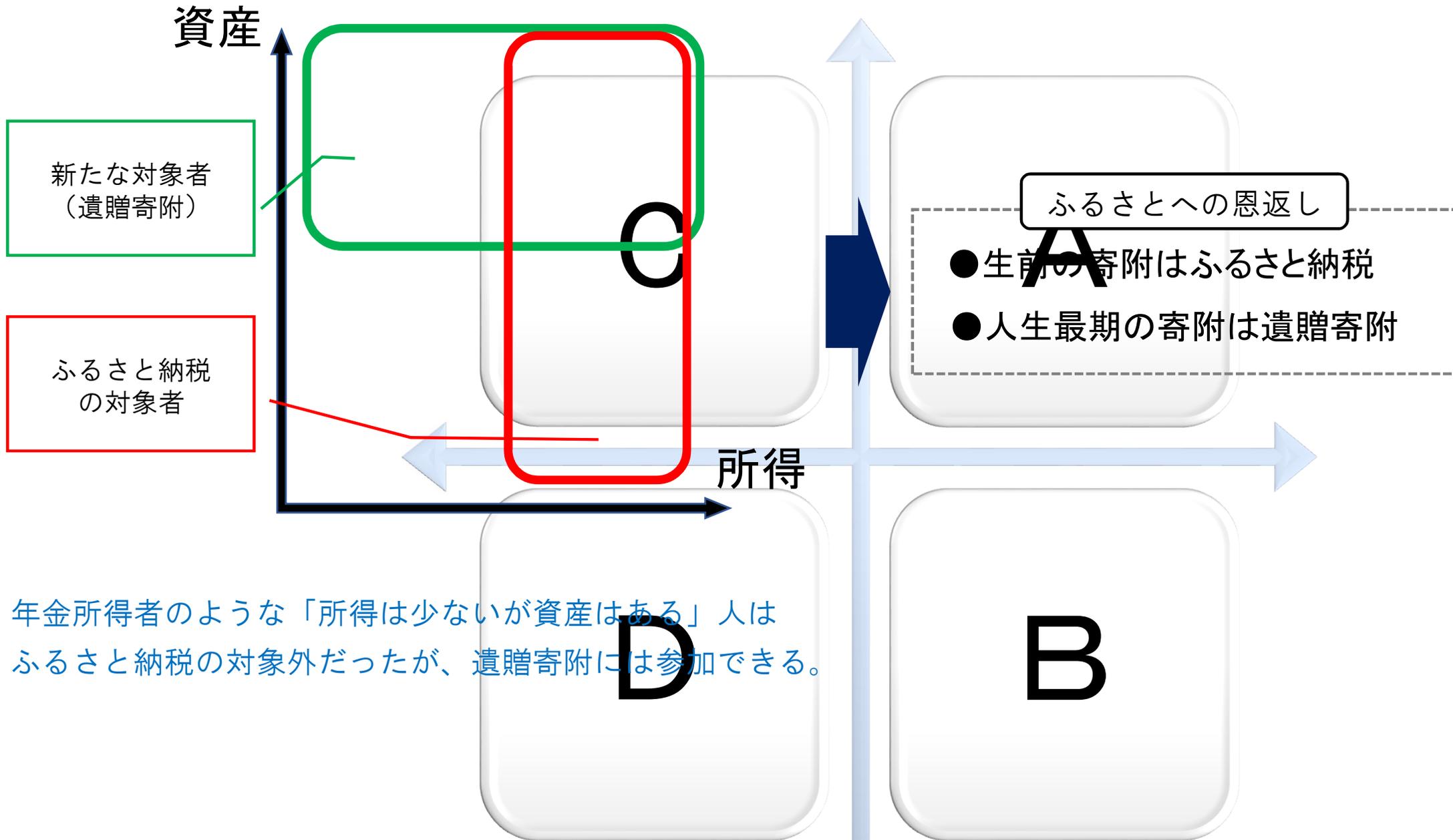
<これまでにない特長>

- ・ 遺言代用信託で受取人を相続人以外（自治体）を指定できる。
- ・ 寄附は相続発生後に実行されるが、生前に感謝を受けられる。
- ・ 遺留分対応を弁護士が行うので、受取人（自治体）の負担が少ない。
- ・ 寄附者は無料で信託を利用して、遺贈寄附を実行できる。

「ふるさとレガシーギフト」のWEBサイト ⇒ <https://lgpo.jp>

「ふるさとレガシーギフト」のコンセプト

～ふるさとと納税につづく新たな仕組み～

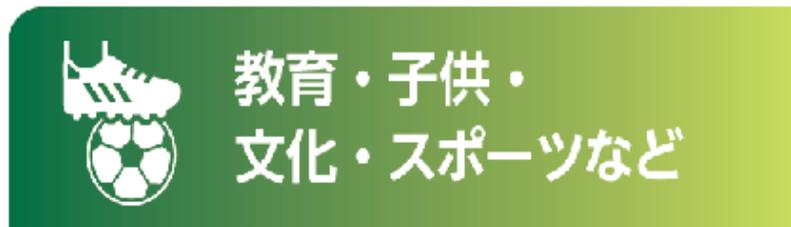


年金所得者のような「所得は少ないが資産はある」人はふるさと納税の対象外だったが、遺贈寄附には参加できる。

ふるさと納税と「ふるさとレガシーギフト」の共通点と相違点

項目	ふるさと納税	遺贈寄附信託 (ふるさとレガシーギフト)
資金の性質	寄附	寄附
寄附先	自治体	自治体
寄附先の範囲	全国	全国（順次拡大）
寄附のタイミング	今	死亡時（平均7年後）
寄附の方法	振込・クレジットカード	信託
対象寄附者	所得のある方	資産のある方
金額規模	1,000円～数百万円（平均数万円）	100万円～2000万円（平均数百万円）
メインターゲット	所得のある現役世代	高齢者、特に子供のいない方
税制面のメリット	手厚い寄附金控除	寄附金は相続税の対象外
返礼品	多数あり	感謝状のみ
寄附の目的	地域の支援＋返礼品	地域の支援
留意点	—	遺留分
寄附金の使途	目の前の課題	長期的・恒久的な課題

寄附金の使い道



- ・ 6つの事業分野から、寄附金の使い道を指定することができる。
- ・ 事業分野の内容は自治体によって異なる（WEBサイトに掲載）。
- ・ 将来に実行される寄附なので、長期的・恒久的なテーマが合う。
- ・ 特に希望がある場合には、自由記入欄に記載できる（希望に沿えないこともある）。
- ・ 自治体を介して、地元の小さなNPOを応援することもできる。

生駒市の寄附金の使い道

生駒市の寄附金の使い道

寄附金を何に使ってほしいか選択できます。以下の使い道より1つお選びください。
(信託銀行の申込書に同封された「特約申込書」にご記入ください)

教育・子供・文化・スポーツなど



詳しく見る



福祉・医療・公共設備など



詳しく見る



産業振興・観光など



詳しく見る



環境・景観・自然保護など



詳しく見る



NPO・公益団体支援など



詳しく見る



首長一任



詳しく見る



この「ふるさとレガシーギフト」に、全国で一番初めてご賛同いただいたのが生駒市です。
小紫市長にその思いをお話いただきたいと思います。